

国際貨物量5.3%増、供給は横ばい

■IATA統計・8月

国際航空運送協会（IATA）がまとめた統計によると、2026年8月の世界の航空貨物輸送量（貨物トンキロ=CTK）は前年同月比4.4%増、国際貨物は同5.3%増となった（表①参照）。一方、供給量（有効貨物トンキロ=ACTK）は全体で0.1%減、国際貨物では0.1%増とほぼ横ばいだった。貨物ロードファクター（LF）は全体で2.0ポイント上昇の46.0%、国際貨物で2.6ポイント上昇の51.3%だった。全地域で需要が前年を上回る一方、供給は抑制され、需要の伸びが供給を上回った。

主要地域別に航空会社の国際貨物輸送実績をみると、北米系航空会社が最も高い伸びを示し、輸送量は10.1%増、供給量は0.3%減だった。アジア太平洋系は輸送量が5.5%増、供給量が1.5%増、欧州系は輸送量が4.3%増、供給量が6.4%減だった。中南米・カリブは輸送量が2.5%増、供給量が4.8%減だった。中東系は輸送量が1.0%増、供給量が3.5%減と、需要の伸びは地域別で最も低かった。

主要レーン別の貨物輸送量成長率（CTKベース）を見ると、アジアー北米（市場シェア23.5%）が13.2%増と最も高い伸びを示し、7カ月連続の増加となった。アジア域内（同7.3%）は6.1%増で34カ月連続増、欧州ー北米（同13.5%）は4.3%増で4カ月連続増、欧州ーアジア（同21.5%）は3.1%増で42カ月連続増となった。

一方、中東関連レーンは引き続き落ち込んだ。欧州ー中東（同5.2%）は12.1%減、中東ーアジア（同7.4%）は11.0%減で、ともに6カ月連続のマイナスとなった。アフリカーアジア（同1.3%）も11.9%減で3カ月連続の減少だった。中東情勢を巡る混乱が、湾岸関連の主要レーンに影響を与え続けている。

IATAのマリー・オーウェンズ・トムセン上級副社長兼チーフエコノミストは、8月の航空貨物需要について「強い需要と貨物ロードファクターの

表① IATA世界航空貨物実績								
2026年8月実績(前年同月比)					2026年1～8月実績(前年同期比)			
(単位:%)	市場 シェア*	輸送量 (CTK)	供給量 (ACTK)	貨物LF (ポイント)	貨物LF (水準)	輸送量 (CTK)	供給量 (ACTK)	貨物LF (ポイント)
総合(国際+国内)	100.0	4.4	▲0.1	2.0	46.0	4.6	1.5	1.4
アフリカ	2.1	3.0	14.0	▲3.9	36.5	8.5	2.2	2.6
アジア太平洋	35.8	4.3	1.2	1.5	48.6	7.5	4.7	1.2
欧州	21.4	4.1	▲3.5	3.9	53.0	5.4	2.5	1.5
中南米・カリブ	2.9	5.1	3.3	0.6	34.9	1.1	4.5	▲1.1
中東	13.2	1.0	3.3	▲1.0	43.1	▲6.5	▲7.1	0.3
北米	24.6	6.6	▲2.5	3.6	42.0	5.9	0.4	2.2
国際貨物	87.9	5.3	0.1	2.6	51.3	5.1	1.8	1.6
アフリカ	2.1	3.0	14.5	▲4.2	37.4	8.5	2.2	2.7
アジア太平洋	32.1	5.5	1.5	2.1	55.2	8.3	5.9	1.2
欧州	21.0	4.3	▲6.4	5.9	57.5	5.7	1.6	2.2
中南米・カリブ	2.5	4.8	2.3	0.9	38.7	1.7	4.0	▲0.9
中東	13.2	1.0	3.5	▲1.0	43.4	▲6.5	▲7.2	0.3
北米	17.1	10.1	▲0.3	4.7	49.6	7.5	2.1	2.5

*市場シェアは2025年のCTKベース
CTK=貨物トンキロ
ACTK=有効貨物トンキロ
貨物LF=貨物ロードファクター

注)地域別航空会社の貨物輸送実績増減。市場全体および地域別成長率は各航空会社の実績レポートおよび一部レポートの無いところは推測に基づく。なお、航空会社の輸送実績は登記上の国籍をもとに地域別に振り分けたものであり、該当する地域ごとの輸送規模を示すものではない

上昇が、極めて高い燃料費の一部回収を支えた」と指摘。イールドは4月以来初めて前月比で上昇し、商品貿易量も拡大が続いているとして、「年末のピークシーズンが見えてくる中、いずれも前向きな兆候だ」

（オーウェンズ・トムセン氏）と述べた。

事業環境をみると、世界の商品貿易量は7月に前年同月比6.0%増となり、前年同月比ベースで33カ月連続の増加となった。8月のジェット燃料価格は前月比8.3%上昇し、前年同月比でも79.2%高い水準となった。製造業活動も拡大した。世界製造業生

表② 主要レーンの2026年8月貨物輸送量成長率（CTKベース、市場規模順）

路線	需要伸び率(CTK)	備考	市場シェア
アジアー北米	13.2%	7カ月連続増	23.5%
欧州ーアジア	3.1%	42カ月連続増	21.5%
欧州ー北米	4.3%	4カ月連続増	13.5%
中東ーアジア	▲11.0%	6カ月連続減	7.4%
アジア域内	6.1%	34カ月連続増	7.3%
欧州ー中東	▲12.1%	6カ月連続減	5.2%
アフリカーアジア	▲11.9%	3カ月連続減	1.3%

※市場シェアは2025年通年のCTKに基づく

産購買担当者景気指数（PMI）は前月から0.3ポイント上昇して53.0、新規輸出受注指数は1.4ポイント上昇して51.4となり、いずれも景況判断の節目である50を上回り、航空貨物需要を支える水準を維持した。

8月実績の詳細は表①、表②の通り。